

ふるさと納税の現況

Q : ふるさと納税に関する現況調査結果が公表されたそうですが、どんな内容でしたか？

A : 次のような内容になっています。

【解説】

先ごろ、総務省から「ふるさと納税に関する現況調査結果」が公表されました。

概要は、次のとおりです。

① ふるさと納税の受入額と受入件数

令和5年度の実績は、受入額が1兆1,175億円(前年比1.2倍)、受入件数が5,895万件(同1.1倍)でした。受入額が最も多かったのは都城市の193億8,400万円で、次いで、紋別市、泉佐野市、白糠町、別海町でした。

② ふるさと納税の募集に要した費用

ふるさと納税の募集に要した費用は5,429億1,300万円(受入額に占める割合は48.6%)で、その内訳は、返礼品の調達に係る費用が3,028億6,900万円(同27.1%)、返礼品の送付に係る費用が801億3,800万円(同7.2%)、広報に係る費用が68億100万円(同0.6%)、決済等に係る費用が207億9,000万円(同1.9%)、事務に係る費用が1,323億1,500万円(同11.8%)でした。

③ 住民税の控除額と控除適用者

令和6年のふるさと納税に係る住民税の控除額は7,682億円(前年対比1.1倍)で、控除適用者数は1,000万人(同1.1倍)でした。市町村民税控除額が最も多かったのは横浜市の304億6,700万円で、次いで、名古屋市、大阪市、川崎市、世田谷区でした。

